

Kashimura BL-85

Bluetooth イヤホンマイク
カナル式 マルチ

保管用
保証書付

取扱説明書



安全上のご注意	1	使用方法 (はじめて使用する場合)	6
警告	2	主な Bluetooth 搭載の機種のパ어링方法	7-10
注意	3	使用方法	11-14
各部の名称と働き	4	故障かな?と思ったら	14
使用上のご注意	5	保証書	15

※お買い上げありがとうございます。
※ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みの上、正しくご使用ください。
※お読みになった後は、大切に保管してください。

使用上のご注意

- 良好な通信のために**
- ※接続機と見通し距離約10m以内で通信してください。建物の構造や障害物によっては通信距離が短くなる場合があります。特に鉄筋コンクリートなどを挟むと通信できないことがあります。
 - ※電気製品(AV機器・OA機器・電子レンジなど)から3m以上離れて通信してください。テレビやラジオなどの場合は、受信障害になる場合があります。
 - ※無線機や放送局の近くなどで正常に通信ができない場合は、通信場所を変更してください。
 - ※接続機からの接続要求に応答するために、低電力ではあります。常に電力を消費しますので使用しないときは電源OFFにするをお勧めします。
- 内蔵電池について**
- ※3時間以上の長時間の充電はしないでください。
 - ※電池は寿命が短い商品です。保証対象外となります。
 - ※十分に充電した電池で使用時間が短く短くなってきたり、ご利用いただけない場合は電池の寿命となります。(電池の交換はできません。)
 - ※リチウムポリマー電池の特性上、高温での保管はお勧めできません。
- 使用する電波について**
- ※本製品は2.4GHz帯域の電波を使用しています。
 - ※本製品を使用する上で無線局の免許は必要ありませんが以下の場合や製品の近くでは使用しないでください。



- ※病院内・電車内・航空機内・ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
- ※電子レンジ・ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器など
- ※自動火災報知器など
- ※工場の製造ライン等で使用されている稼働機体別用の構内無線局(免許を要する無線局)
- ※特定小電力無線局(免許を要しない無線局)
- ※IEEE802.11b/g無線LAN機器

上記の機器などはBluetoothと同じ電波の周波数帯を使用しています。上記の近くで本製品を使用すると電波の干渉が発生するおそれがあります。この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器等のお工場での製造ライン等で使用されている稼働機体別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が設置されています。

安全上のご注意

必ずお守りください。

※ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
※ここに示した注意事項は製品を安全に正しくお使いいただき、使用者や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
※また注意事項は次のように区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

表示の説明

- 危険** この表示は「人が死亡または重傷を負う差し迫った危険が想定される内容」を示しています。
- 警告** この表示は「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
- 注意** この表示は「人が障害を負う可能性が想定される内容や物質的損害の発生が想定される内容」を示しています。

記号の説明

- この記号は必ず実行していただく内容を示しています。
- この記号はおこなってはいけない内容を示しています。

危険

- * 耳を刺さるような大きな音で長時間聴くと聴力に悪影響を与えることがあります。耳を守るため音量を上げすぎないようにご注意ください。
- * 走行中での携帯・自動車電話の使用は法律で禁止されています。万が一電話をかける場合は安全な場所に停車してから携帯電話の操作をおこなってください。
- * 本製品のご使用にあたっては各都道府県や各地域の条例に従ってください。
- * 航空機の運行に支障をきたすおそれがありますので、本製品は機内では使用しないでください。

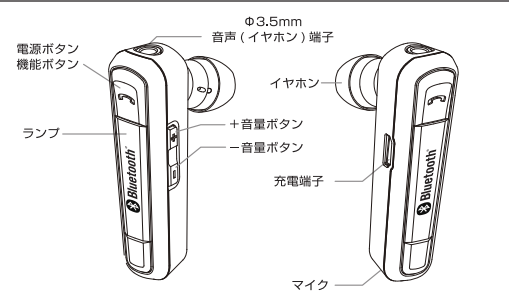
警告

- * 本製品を正常にご使用中、異音・発熱・変形などの異常が起きた場合には、ただちに本製品の使用を中止してください。(感電・火災・事故の原因となります。)
- * 熱源の近くや直射日光の当たる所で本製品を充電したり、放置しないでください。(火災・事故の原因となります。)
- * 本製品を充電する際は必ず付属されている DC 充電器および、USB ケーブルをご使用ください。(火災・故障の原因となります。)
- * 付属品の DC 充電器と USB ケーブルは本製品専用となります。本製品以外の充電には使用しないでください。DC 充電器は 12V/24V、USB ケーブルは USB 端子 5V 以外では使用しないでください。(事故・故障の原因となります。)
- * 本製品を充電しながら耳に付けて使用しないでください。使用する際は必ず USB ケーブルから本製品を外してください。(事故やけがの原因となります。)
- * 充電終了後は必ず USB ケーブルから本製品を外し、USB ケーブルを USB 端子から抜いてください。(火災・事故の原因となります。)
- * USB ケーブルのコードや端子が傷んだり、USB 端子の差し込みがゆるいときは使用しないでください。(感電・ショート・発火の原因となります。)
- * USB ケーブルのコードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、おぼろげたり、重いものをせたり、はさまんだり、加工したり、本体に巻きつけたら使用しないでください。(感電・ショート・発火の原因となります。)
- * 子供だけで使わせたり、幼児の手の届く所では使用しないでください。(事故やけがをするおそれがあります。)
- * 水につけたり、ぬらしたりしないでください。また湿気の多い所やぬれた手で使用しないでください。(事故・ショート・発火の原因となります。)
- * 絶対に分解・修理・改造をしないでください。(発火や異常動作によるけがの原因となります。)

注意

- * 窓を閉めきった自動車の中やダッシュボードの上などの直射日光があたる場所やエアコンの出口などの真夏日に温度が高くなる場所に放置しないでください。(事故・故障の原因となります。)
- * USB 端子から USB ケーブルを抜く時は、必ず USB 端子部を持って抜いてください。(感電やショートして発火することがあります。)
- * 落としたり、ぶつけたりして破損した場合は使用しないでください。(感電・発火の原因となります。)
- * 充電完了後長時間 USB ケーブルを USB 端子に接続したままにしないでください。また充電終了後は必ず USB 端子から USB ケーブルを抜いてください。(事故・故障の原因となります。)
- * 自動車内で使用した場合、車種により車載電子機器に影響を与える場合があります。安全を損なうおそれがありますので、そのような場合は使用しないでください。(事故・故障の原因となります。)
- * 調理台や加湿器のそばなど油煙や湿気があたる場所には置かないでください。(事故・故障の原因となります。)
- * イヤホンパッドをしっかり取り付けてください。イヤホンパッドなしで装着したり、イヤホンパッドがはずれて耳に刺さると病気の原因となることがあります。
- * 装着中に気分が悪くなるなど異常を感じたときは直ちに使用を中止し医師または薬剤師の相談窓口、お買い上げ店にご相談ください。
- * イヤホンマイクは音量を上げすぎると音を外に漏れます。音量を上げすぎず、まわりの人の迷惑にならないよう気をつけましょう。雑音の多い所では音量を上げてしまいがちですが、イヤホンマイク使用中は呼びかけられても返事ができるくらいに音量を目安にしてください。
- * 子供の手の届く所に保管しないでください。(事故・けがの原因となります。)
- * 湿気の多い所に保管しないでください。(絶縁劣化により感電することがあります。)

各部の名称と働き



【製品仕様】※動作部は携帯電話やスマートフォンによって異なります。

無線方式	Bluetooth Ver.5 (Class2 準拠)
送信電波範囲	2.402GHz~2.480GHz
対応プロファイル	HSP/HFP/A2DP/AVRCP
マルチポイント	2台
SCMS-T	対応
無線距離	約10m
電源供給	リチウムポリマー電池
充電時間	約2時間
連続使用時間	最大約6時間
連続待受時間	最大約120時間
外形寸法	W17×H55×O34mm/10g
動作・保証環境	温度 0~45℃(結露しないこと)
付属品	DC 充電器/USB ケーブル/耳掛けフック イヤホンパッド(S.M.L)

※右耳で使用する場合
※右耳に装着する際はイヤホンパッドの向きを必ずご確認ください。
※イヤホンマイクの音量を上げすぎると音を外に漏れます。音量を上げすぎず、まわりの人の迷惑にならないよう気をつけましょう。雑音の多い所では音量を上げてしまいがちですが、イヤホンマイク使用中は呼びかけられても返事ができるくらいに音量を目安にしてください。
※子供の手の届く所に保管しないでください。(事故・けがの原因となります。)

※ご案内する場合は携帯電話での通話についての確認結果です。連続使用時間、マルチポイント機能などの動作を保証するものではありません。また、機器の仕様変更(ソフトウェアの更新など)により適合情報に変更になる可能性があります。予めご了承ください。

下記に載っていない携帯電話の場合は携帯電話の取扱説明書又は弊社ホームページ (http://www.kashimura.com/) をご覧ください。

※ペアリングする時は、本製品のランプを赤・青交互の点滅にした状態でおこなってください。

※OSのバージョンによっては、ペアリング手順が異なる場合があります。

機種	アップル iPhone X	アップル iPhone 8/8Plus	ソニー Xperia XZ2 702S0
メニュー	メニュー	メニュー	アプリケーション画面
設定	設定	設定	設定
Bluetooth	Bluetooth	Bluetooth	機器接続
ONにする	ONにする	ONにする	Bluetooth
「BL-85」と表示された番号を選択	「BL-85」と表示された番号を選択	検索	ONにする
接続完了	接続完了	接続完了	接続完了
ホーム画面	ホーム画面	ホーム画面	ホーム画面
設定	設定	設定	設定
接続済みの端末	デバイス接続	接続済みの端末	接続済みの端末
Bluetooth	Bluetooth	Bluetooth	Bluetooth
ONにする	ONにする	ONにする	ONにする
更新	検索	新しいデバイスとペア設定する	新しいデバイスとペア設定する
「BL-85」と表示された番号を選択	「BL-85」と表示された番号を選択	「BL-85」と表示された番号を選択	「BL-85」と表示された番号を選択
接続完了	接続完了	接続完了	接続完了

使用方法

※携帯電話の操作方法などは各キャリア様にお尋ねください。

- 【電源をONにする】**
電源ボタンを長押しするとランプが約5~8秒押し続け、ランプがついたら着きました。(イヤホンからは電子音が鳴ります。)
- 【電源をOFFにする】**
電源ボタンを長押しするとランプが約5~8秒押し続け、ランプがついたら着きました。(イヤホンからは電子音が鳴ります。)
- 【電話をかける】**
本製品からの発信はできませんので、携帯電話機から発信してください。相手携帯電話にしたら機能ボタンを電子音が鳴るまで長押ししてください。
- 【電話を拒否する】**
イヤホンから発信音がしたら機能ボタンを電子音が鳴るまで長押ししてください。
- 【音量を調節する】**
音量を大きくする場合は+音量ボタンを、音量を小さくする場合は-音量ボタンをそれぞれ1回ずつ押し続けて調節してください。



- 【電話を切る】**
機能ボタンを1回押しすると通話が終了します。(イヤホンからは電子音が鳴ります。)
- 【電話をかける】**
イヤホンから発信音がしたら機能ボタンを1回押しします。携帯電話機の機能、設定によっては上記と異なる場合があります。
- 【電話を切る】**
機能ボタンを1回押しすると通話が終了します。(イヤホンからは電子音が鳴ります。)
- 【電話を拒否する】**
イヤホンから発信音がしたら機能ボタンを電子音が鳴るまで長押ししてください。
- 【電話をかける】**
イヤホンから発信音がしたら機能ボタンを電子音が鳴るまで長押ししてください。



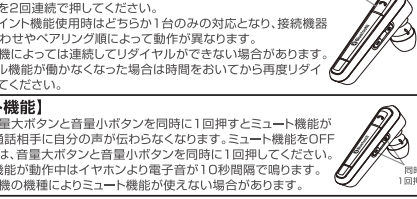
- 【電話を切る】**
機能ボタンを1回押しすると通話が終了します。(イヤホンからは電子音が鳴ります。)
- 【電話をかける】**
イヤホンから発信音がしたら機能ボタンを1回押しします。携帯電話機の機能、設定によっては上記と異なる場合があります。
- 【電話を切る】**
機能ボタンを1回押しすると通話が終了します。(イヤホンからは電子音が鳴ります。)
- 【電話を拒否する】**
イヤホンから発信音がしたら機能ボタンを電子音が鳴るまで長押ししてください。
- 【電話をかける】**
イヤホンから発信音がしたら機能ボタンを電子音が鳴るまで長押ししてください。



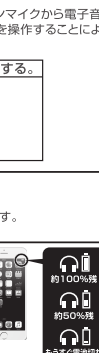
使用方法

※携帯電話の操作方法などは各キャリア様にお尋ねください。

- 【リダイヤルする】**
機能ボタンを2回連続で押してください。
- 【ミュート機能】**
通話中に音量ボタンと音量小ボタンを同時に1回押すとミュート機能がONになり通話相手の自分の声が伝わりなくなります。ミュート機能をOFFにする場合は、音量大ボタンと音量小ボタンを同時に1回押ししてください。
- 【マルチポイント※携帯電話の2台使用】**
通話中に1台目の携帯電話機に電話がかかってきた場合にはイヤホンマイクから電子音が鳴るの音が聞こえてきたこととなります。下記のように機能ボタンを操作することにより、1台目の電話の通話を切る、通話保留にすることができます。



- 【充電しながら待ち受けをする場合について】**
充電中は絶対耳に付けて使用しないでください。
- 【iPhoneで本製品のバッテリー残量を表示する】**
本製品とiPhoneをペアリングするとiPhoneの液晶画面に、本製品のバッテリー残量が表示されます。あくまで目安です。電池残量が少なくなってきたら早めに充電してください。
- 【充電しながら待ち受けをする場合について】**
充電中は絶対耳に付けて使用しないでください。
- 【充電しながら待ち受けをする場合について】**
充電中は絶対耳に付けて使用しないでください。



使用方法

※携帯電話の操作方法などは各キャリア様にお尋ねください。

- 【ワンセグ/音楽を聴く(モノラル)】**
A2DPプロファイル対応の携帯電話機があれば、本製品で音楽/ワンセグ音楽を聴くことができます。携帯電話機のBluetooth設定をオーディオに設定して下さい。
- 【両耳で音楽を聴く(ステレオ)】**
φ3.5mm ステレオイヤホン(別売)を音声(イヤホン)端子に挿すことでステレオに切り替えができます。この時、本製品のイヤホンが消滅します。製品の仕様上、挿入したイヤホンに付いているマイク、リモコンは使用できません。有線イヤホンを使うとモノラルに切り替わります。
- 【音楽リモコン】**
本製品で音楽の再生一時停止・前曲戻し・次曲送り操作ができます。※一部の音楽アプリ、演奏し続ける場合は操作できない場合がございます。※2台目の携帯電話機を使用している場合は、接続した本製品を先に認識した携帯電話機1台のみに対応となります。
- 【オーディオ機器で音楽を聴く(ステレオ)】**
市販のφ3.5mmAUXケーブル(別売)を使用し、本体の音声(イヤホン)端子と、オーディオ機器のAUX-IN(φ3.5mmステレオ端子)を接続します。※この時、本製品のイヤホンが消滅します。製品の仕様上、挿入したケーブルに付いているマイク、リモコンは使用できません。有線イヤホンを使うとモノラルに切り替わります。
- 【自動電源OFF機能/節電モード】**
以下の条件を満たすと本製品の自動電源OFF機能が働き、本製品の電源がOFFになります。



- 約3分後、本製品の電源がOFFになります。
- 約3分後、本製品の電源がOFFになります。
- 約3分後、本製品の電源がOFFになります。
- 約3分後、本製品の電源がOFFになります。

【Siri(シリ)を使用する】※iPhoneのみ
iPhoneのSiriを使用することができます。

※ペアリングする時は、本製品のランプを赤・青交互の点滅にした状態でおこなってください。

※OSのバージョンによっては、ペアリング手順が異なる場合があります。

故障かな?と思ったら

症状	考えられる原因	処置
電源がONにならない	バッテリーの残量が不足している。	付属の DC 充電器と USB ケーブルを使用し充電してください。
	白いLEDが点滅している。	白いLEDが点滅している状態は電源がONの状態でペアリング動作です。
ペアリングができない	長時間、赤と青のLEDが交互に点滅している。	電源OFFの状態から約5~8秒押し続けて「ペアリングモード」(赤青交互点滅)にしてください。
通話音量が小さい	音量レベルが小さくなっている。	ボリュームを上げてください。
	ペアリングが完了していない。	ペアリングを完了させてください。
通話ができない	携帯電話機の設定がイヤホン設定になっていない。	携帯電話機の設定を変更してください。
	イヤホンから発信音が聞こえない。	イヤホンから発信音が聞こえない場合はイヤホンマイクの向きを確認してください。
	イヤホンから発信音が聞こえない。	イヤホンから発信音が聞こえない場合はイヤホンマイクの向きを確認してください。
携帯電話機から発信音が聞こえない。	携帯電話機の電源が入っていない。	携帯電話機の電源を入れてください。
	携帯電話機の電源が入っていない。	携帯電話機の電源を入れてください。
通話で通話が切れる	鉄筋のついた壁、電子レンジなどの電磁放射、放送局や無線機などが近くにある。	場所を移動して使用してください。
ノイズや音切れがする	無線LAN、Wi-Fiの電波干渉、携帯電話機に入力されるデータは対称周波(ヘッドセット)を装着すると発生する場合があります。	無線LANやWi-Fiの電波干渉、携帯電話機に入力されるデータは対称周波(ヘッドセット)を装着すると発生する場合があります。
待ち受け中に電子音が鳴る	携帯電話機のBluetooth設定が不安定になっている。	携帯電話機のBluetooth設定をOFFにしてください。接続を使用している機器から3m以上離れてください。
	バッテリーの残量が不足している。	付属の DC 充電器と USB ケーブルを使用し充電してください。

以上の処置をしても具合が悪い場合は事故防止のため、使用を中止しお買い上げの販売店、または当社までご相談ください。